

2011 年度第1回 鋼構造運営委員会議事録

鋼構造運営委員会
資料 No.02-02

- 日時： 2011年6月20日（月） 14：00～17：00
場所： 建築会館会議室
出席者（敬称略）： 緑川主査、井戸田、岡本、金子、向野、吹田、田上、竹内、多田、玉井、成原、西山、藤澤、藤田、伏見、山田（代理出席：西澤）、寺田
欠席者： 小河、越智、笠井、河野昭彦、桑村、河野守、田川、田中、中込、中島
資料：
- | | | |
|-------|---|---------|
| 01-01 | 2011年度 第1回鋼構造運営委員会議事予定 | （緑川） |
| 01-02 | 2010年度 第4回鋼構造運営委員会議事録（案） | （寺田） |
| 01-03 | 構造本委員会（電子会議）議事メモ（2011/03/16開催、3/28メール配信済） | （玉井） |
| 01-04 | 2011年度 第1回 鋼構造座屈小委員会 議事録 | （竹内） |
| 01-05 | 接合小委員会・報告メモ | （田中） |
| 01-07 | 鋼構造耐火設計小委員会 第4回議事録（案） | （河野） |
| 01-08 | 鋼構造環境小委員会 2011年度第1回議事録 | （藤田） |
| 01-12 | 重点審議資料：鋼構造素材小委員会 2010年度から現在までのまとめ | （山田・西澤） |
| 01-13 | 発行図書に対する質疑回答一覧 | （多田） |
- （下記資料：01-14～01-19はいずれも東日本大震災関連）
- | | | |
|-------|--|-------|
| 01-14 | 鋼構造運営委員会の活動の現状 | （緑川） |
| 01-15 | 鋼構造運営委員会の活動と考え | （緑川） |
| 01-16 | 東日本大震災鉄骨造建物被害調査報告書（鋼構造運営委員会） | （緑川） |
| 01-17 | 災害委員会被害調査速報原稿「東北地方の被害-鉄骨造建物被害」 | （緑川） |
| 01-18 | 災害委員会被害調査速報目次、2011年度大会研究協議会「東日本大震災-被害の概要-」 | （緑川） |
| 01-19 | 鋼構造運営委員会東日本大震災鉄骨造建物被害調査（運営委員会HP公開用トップページ案） | （寺田） |
| 01-20 | 鋼構造運営委員会2011年度委員名簿 | （事務局） |
| 01-21 | 建築雑誌会告：既刊本講習会「各種合成構造設計指針」 | （事務局） |
- （資料06、09～11は欠番）

議事

1. 2011年度委員について（資料01-20）

- ・資料に基づき、新年度の委員の確認および自己紹介がなされた。

2. 前回議事録の確認（資料01-02、寺田）

- ・事前配布された議事録（案）に対する修正意見はなく、承認された。

3. 構造本委員会報告（資料01-03、玉井）

- ・3月16日に開催された構造本委員会の報告がなされた。また、構造本委員会による「東北関東大震災に際しての決議」について緑川主査から趣旨説明がなされた。

4. 各小委員会報告

資料等に基づき各小委員会の活動が報告・審議された。

1) 座屈小委員会（資料01-04、竹内）

- ・今年度大会PD「座屈に関する設計上の諸問題-いま、新しい視点で座屈を考える-」の企画を進めている。本PDの

議論の内容などを踏まえ、2012年度に「座屈に関する諸問題」を発刊する予定である。

2) 接合小委員会（資料01-05、吹田）

- ・鋼構造運営委員会の査読用原稿が一部未提出であるので、運営委員会査読が未了である。年度内改定版出版、講習会の予定となっているので、運営委員会査読およびその後の構造本委員会査読への早めの対応のこと。
→ 吹田委員から接合小委員会田中主査へ連絡済み（6/20）

3) 耐火小委員会（資料01-07、河野守）

- ・今年度の小委員会はまだ開催していないので前回の運営委員会以降、特に報告することはない。

4) 環境小委員会（資料01-08、藤田）

- ・委員の担当を決め、リユースガイドライン策定準備活動をしている。
- ・ガイドライン中には特定の商品名（固有名詞）は出さず、一般名称とする。

5) 塑性設計小委員会（玉井）

- ・6月25日に今年度第1回小委員会を開催する予定である。
- ・2010年2月に刊行した鋼構造塑性設計指針（第2版）の重版をする（3刷）にあたって、細かい誤植等の修正をしている。
- ・塑性設計小委員会の活動内容、方針については、次回運営委員会（8月22日開催予定）の重点審議事項とする。

5. 重点審議「素材小委員会の活動について」（資料01-12、西澤）

- ・今までの活動内容、今後の予定が資料に基づき報告された。
- ・主な活動は 「①素材の機械的性質・化学成分の調査、②基準強度Fおよび板の面外曲げの許容応力度等について」であり、それぞれについて過去の事例調査、検討している。
- ・上記のうち①の最新データを集めるために、設計部門（設計事務所、建設会社設計部）へは実物件のミルシートの提供を、研究部門（大学、建設会社研究部門）へは引張試験データ（および対応する鋼材のミルシート）の提供を依頼したいと考えており、本日の審議事項としたい。
→ 素材小委員会山田主査名で各企業、機関の担当者へ依頼する。データ提供は今月中に依頼し、提出締め切りは8月12日を予定。具体的な案件名がわからないようにして提出を依頼する。
- ・試験時の載荷速度の影響や単調と繰り返しの違いなどもあり、ミルシートの値と引張試験結果が整合しないこともある。
→ 試験条件についても整理してデータを集める。

6. 学会図書への質疑回答（資料01-13、多田）

- ・前回の運営委員会以降、15件の問い合わせがあり、それぞれ対応済および対応中である。

7. 東日本大震災に対する鋼構造運営委員会の活動について（資料01-14～01-19、緑川）

1) 鋼構造運営委員会主体および鋼構造関連の調査活動について

- ・鋼構造運営委員会主体の調査チームは現在のところ6チームが調査活動実施済み、他機関が主体で調査し調査結果を鋼構造運営委員会に提供していただくようにした調査チームは5つある。
- ・資料01-16は、これらのうち運営委員会主査・幹事の調査チームの報告書である。また、各調査報告書を抜粋して4ページにまとめ、東北支部に「東北地方の鉄骨造建築物の被害」として提出した（資料01-17）。
- ・建築学会災害委員会では建築学会の各調査チームの調査結果を取りまとめ、「2011年東日本大震災災害調査速報」として今年7月下旬に出版され、8月に全国9ヶ所で速報報告会開催予定である。本調査速報の目次は資料01-18に記載されている。
- ・最終報告書については今のところ具体的にはなっていないが、いずれ企画されると思われる。最終報告書への対応、盛り込むべき提言などについては、主査・幹事でまず対応することとする。

・災害委員会が取りまとめている「速報」では、体育館などのシェルの被害（ブレースの座屈やRCとの取り合い部の損傷）が抜けている。最終報告書では、鋼構造建築の被害の中に体育館の被害も合わせて記述する（竹内委員提案）。

2) 「大震災調査復興支援に関わる常置研究委員会の活動とお考え」調査協力について

・建築学会東日本大震災調査復興支援本部から調査依頼があり、鋼構造運営委員会の活動予定と提言を回答した（資料01-15）。今後の鋼構造運営委員会の活動は調査報告書の提出、提言は、①津波対応と②非構造部材対策とした。

3) 鋼構造運営委員会主査幹事調査報告書（資料01-16、多田）

・調査報告書がプロジェクターを用いて写真を主体に説明され、今回の被害の特徴について委員の間で情報交換、意見交換がなされた。

4) 建築学会大会における速報会について（資料01-18、緑川）

・今年度大会の3日目（8月25日）に復興支援本部主催の被害調査報告会が開催される。
・鋼構造運営委員会からは、「鉄骨造の被害」として報告する（緑川主査）。
・3日目の午前には、鋼構造運営委員会のPDがあり、残念ながら重なってしまった。

5) 鋼構造運営委員会HPでの報告書の公開について（資料01-19、寺田）

・関係者の情報の共有化のために、各チームの報告書を鋼構造運営委員会HPにて公開することとする。
・ただし、公開にあたっては各報告書著者の承認を得ること、被害事例の案件が特定できないようにすること、掲載する写真や図の著作権上の問題が生じないことを徹底すること。

6) 近畿支部鉄骨部会における報告会について

・近畿支部鉄骨部会主査の田中委員から、「近畿支部鉄骨構造部会での報告会開催」の申し入れがあった。
→ 8月に全国9ヶ所で開催予定の速報報告会のあとであれば、問題ない。ただし、鋼構造運営委員会との共催の形とする。

7) 各チームの調査報告書のまとめについて

・現在のところ、各チームの速報が出揃っているが、詳細調査記録のエクセルやワードの帳票については、各チームでまとめておいてください。

8. 鋼構造運営委員会以外の調査について（西山）

・西山委員から、国総研および建研の調査報告の抜粋がプロジェクターにて紹介され、委員の間で自由に情報交換、意見交換がなされた。
・今後、特に着目すべきこととして①津波、②長周期地震動、③液状化、④非構造部材があげられるとのこと。

9. 既刊本講習会について（資料01-21）

・建築学会の出版活動の一環として「既刊本の講習会」があり、田川委員と相談し、各種合成構造設計指針を提案した。本年10月に東京で開催される。

■次回（2011年度第2回）の鋼構造運営委員会予定

- ・日時 2011年8月22日（月）15：00～17：30
- ・議題 構造本委員会報告、各小委員会報告
重点審議：塑性設計小委員会
（その後、懇親会です。皆様ご参加ください）

以上（記録：寺田）